

平成29年 年頭所感

全国酒販生活協同組合
会長 水元 義則

新春を迎え、全国の組合員・役職員各位をはじめ、関係業界、団体各位のご多幸のご繁栄を心からお祈り申し上げるとともに、平素の温かいご協力に対し、衷心より感謝の意を表すものでございます。

現在のわが国は、高齢化や自然災害の多発のほか、雇用の不安定化、所得格差・貧困拡大、地域社会の崩壊、社会保障制度の逼迫、環境・エネルギー問題など様々な社会問題が生じ、国民の生活と将来を脅かしています。昨年4月には熊本地震が発生し、居住していた住宅が損壊するなど、現在も住宅に困窮している組合員も存在しています。また、昨年は台風や豪雨による浸水被害が相次ぎました。これらの災害によって被災された方々のご心痛はいかばかりかと心よりお見舞い申し上げ、被災地の皆様のご健勝と一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

共済事業は、かつては「掛金が安い」ことが保険に対する優位性であるという認識が一般的でしたが、チャネルの多様化の進展等により、そうした優位性は絶対的なものではなくなりました。こうした状況の下、共済の理念・目的や存在意義・役割を今日的な視点で確立し、正しい情報を発信して組合員の理解と支持を得る必要があると認識しており、職員のレベルアップや組合員への情報提供を充実させることが不可欠であります。

こうしたなか本年は、役職員と組合員がともに協同組合理念に立ち返り、協同組合とは何か、保険事業と何が違うのか、何を指すのかについて共通の理解をもち、事業の柱として再認識する必要があると考えています。また、営利を追求することなく、相互扶助の原理に基づいて運営される協同組合の役割と可能性に対する国際的な期待が高まるなか、本組合も様々な環境変化に対応して職域社会の持続的発展の貢献に努めてまいります。そのためには、共済事業の健全な運営を保ちながら、組合員のリスクや不安の解消に向けた取組みが必要であると考えております。

今後の生協事業の運営に対しなお一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

本年も、皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、ご健康とご多幸を心からお祈りし、新年のご挨拶といたします。